

1 学校が楽しい。
 (生徒) 学校が楽しい。
 (保護者) お子様は、学校が楽しいと思っている。
 (教職員) 生徒は、学校が楽しいと思っている。
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う □ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均

調査時期	対象者	4	3	2	1	肯定的回答	平均
R2・前期	生徒	64.7%	27.7%	4.5%	3.1%	92%	3.5
	保護者	45.4%	47.7%	6.1%	0.8%	93%	3.4
	教職員	19.2%	80.8%			100%	3.2
	地域住民					0%	0.0

R1・後期	生徒					0%	0.0
	保護者					0%	0.0
	教職員					0%	0.0
	地域住民					0%	0.0

R1・前期	生徒					0%	0.0
	保護者					0%	0.0
	教職員					0%	0.0
	地域住民					0%	0.0

前期7月 後期12月

考察 本年度、新たに加えた質問項目であり、最も重要な質問項目であると認識している。肯定的回答をした生徒の割合は92%と高い。一方、否定的回答をした生徒の割合は8%弱であり、特に、「そう思わない」と回答した生徒がいることは課題といえる。教職員の質問項目の「生徒」は全生徒を想定したものとなっているが、保護者の質問項目の「お子様」は、我が子を想定して回答していることが予想される。生徒と保護者の否定的回答率にあまり差がないことから、生徒の「楽しくない」という状態を、保護者は把握していることが予想される。

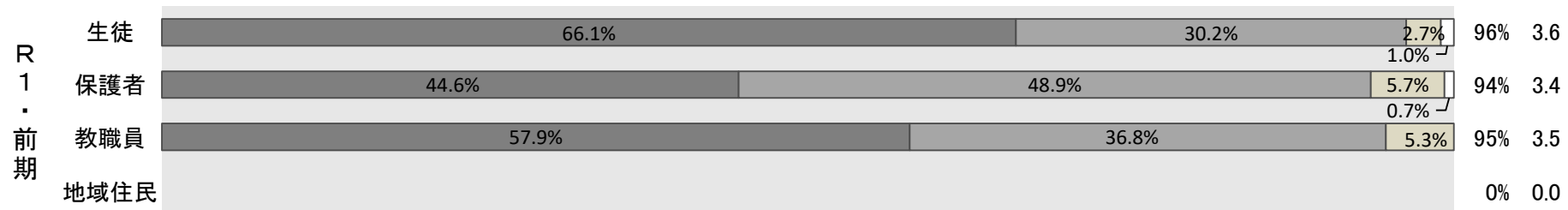
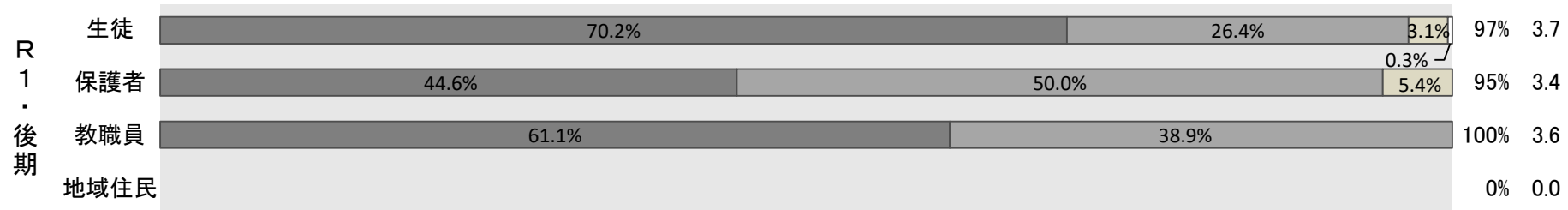
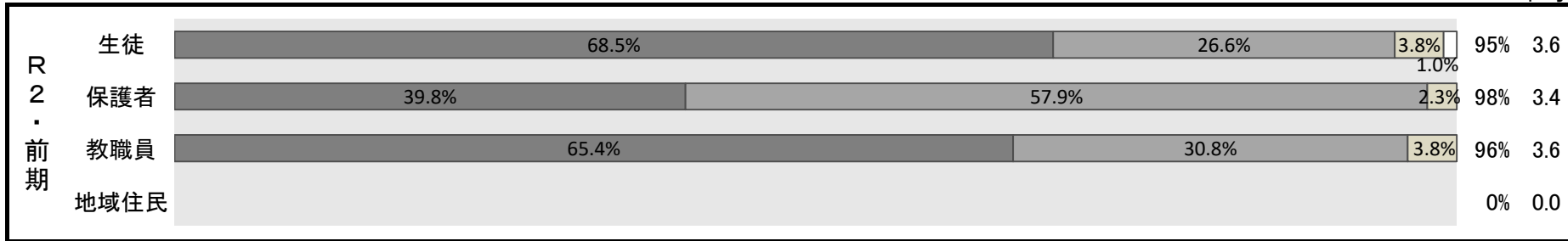
2

先生たちは、心配事を相談した時に、しっかり話を聞くなど親身に
対応してくれると思う。

(生徒) 先生たちは、心配事を相談した時に、しっかり話を聞くなど親身に
対応してくれると思う。
(保護者) 教職員は、お子様が心配事を相談した時に、しっかり話を聞くなど親身に
対応してくれると思う。
(教職員) 本校の教職員は、生徒が心配事を相談した時に、しっかり話を聞くなど親身に
対応していると思う。
(地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う □ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

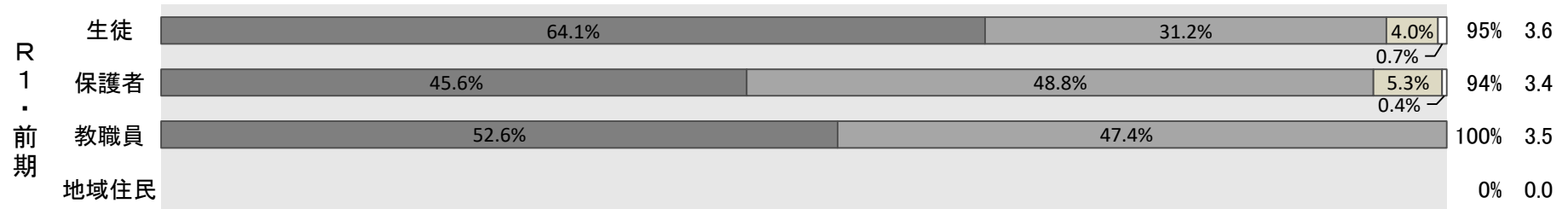
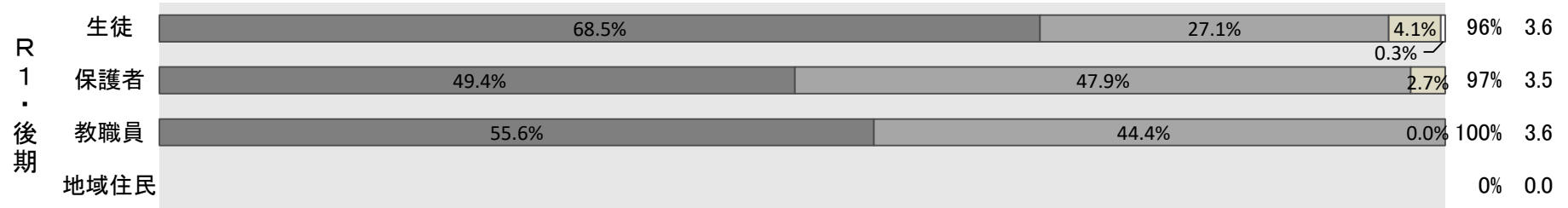
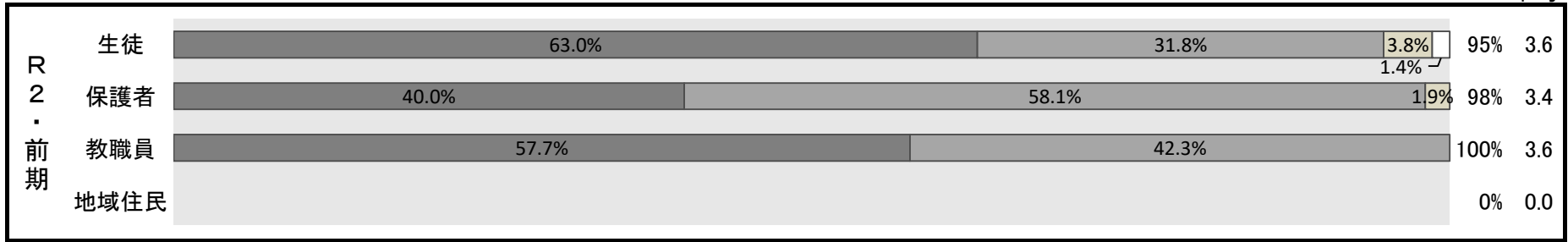
昨年度の同時期である前期の結果と比較すると、「そう思う」と回答した生徒の割合は増加している。一方、「だいたいそう思う」を含む肯定的回答をした生徒の割合は9割を超えているものの、1ポイント(3名程度)減少しており、1%ではあるが、「そう思わない」と感じている生徒もいる。今後、教育相談等を実施する中で、肯定的回答をする生徒の割合は増加していくことが予想されるものの、日々の傾聴と共感の姿勢を一層大切にしたい。また、保護者の肯定的回答率が、昨年度前期及び後期を上回っており、引き続き、寄せられた期待に応えていきたい。

3 先生たちは、あなたのよいところを認めてくれていると思う。

(生徒) 先生たちは、あなたのよいところを認めてくれていると思う。
 (保護者) 教職員は、お子様のよいところを認めてくれていると思う。
 (教職員) 本校の教職員は、生徒のよいところを認めていると思う。
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

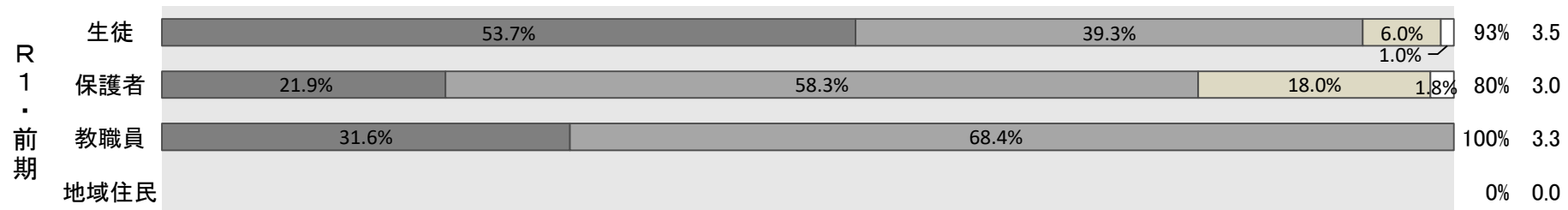
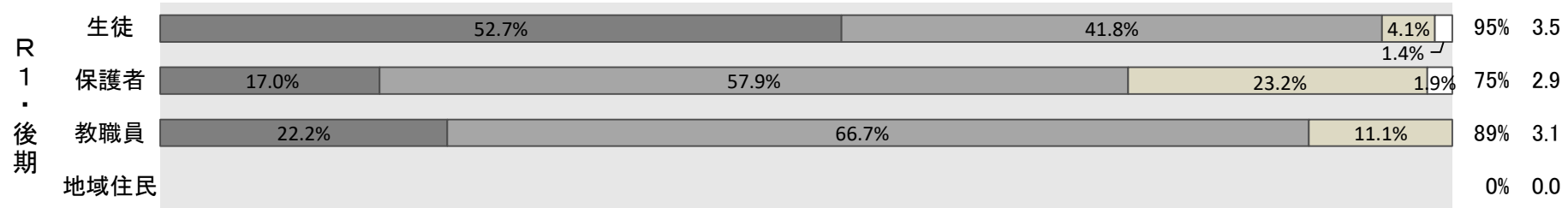
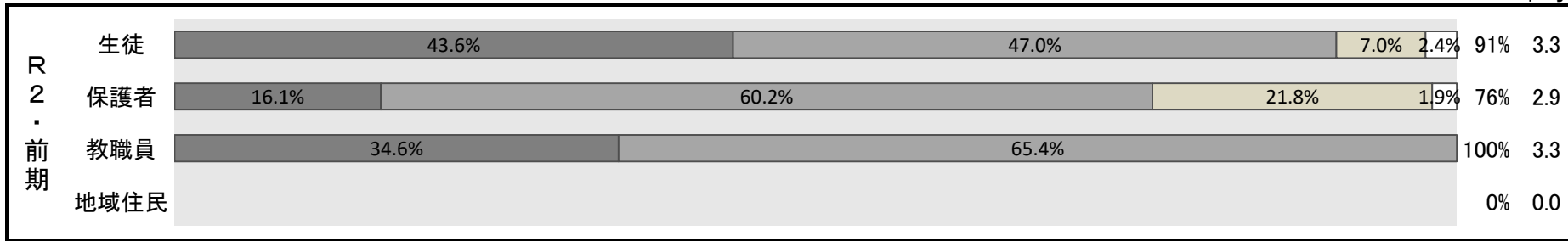
考察 昨年度の同時期である前期の結果と比較すると、肯定的な回答をした生徒の割合については、増減はなく、95%であった。日頃から、「生徒一人ひとりの良いところをみていこう」という姿勢を大切にしている結果であると考え。しかしながら、「そう思わない」と回答した生徒がいることを真摯に受け止め、一層、こういった姿勢を大切にしていける必要がある。

4 あなたは、授業内容がよく分かり、意欲的に取り組むことができる。

(生徒) あなたは、授業内容がよく分かり、意欲的に取り組むことができる。
 (保護者) お子様は、授業内容がよく分かると言っている。
 (教職員) 生徒は、授業のねらいを理解し意欲的に取り組んでいる。
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う □ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察 肯定的回答をした生徒の割合は9割を超えているものの、昨年度の同時期である前期の結果と比較すると、2ポイント減少している。生徒は、グループ学習(話し合い学習)について、「わかる実感を得るために必要な学習形態」と認識していることが他の学習アンケートから分かっている。新型コロナウイルス感染症に係る臨時休業はもとより、学校再開後も、感染症対策の一環として、授業におけるグループ学習(話し合い学習)を制限してきたこともポイント減少の一因と考える。今後は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、校内研修の柱として、取り組んでいくこととしている。

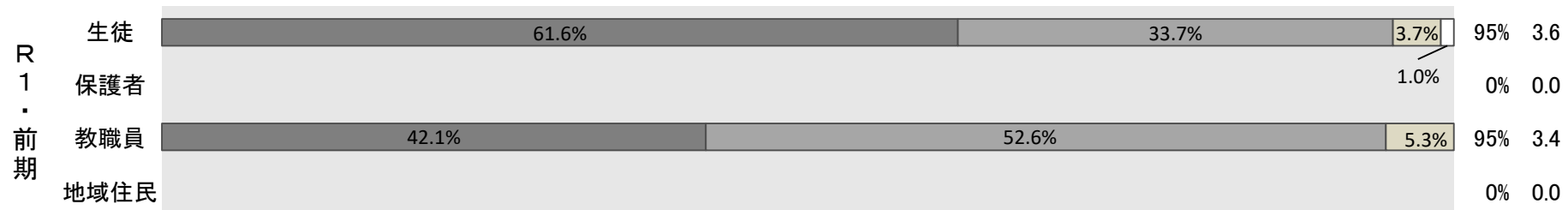
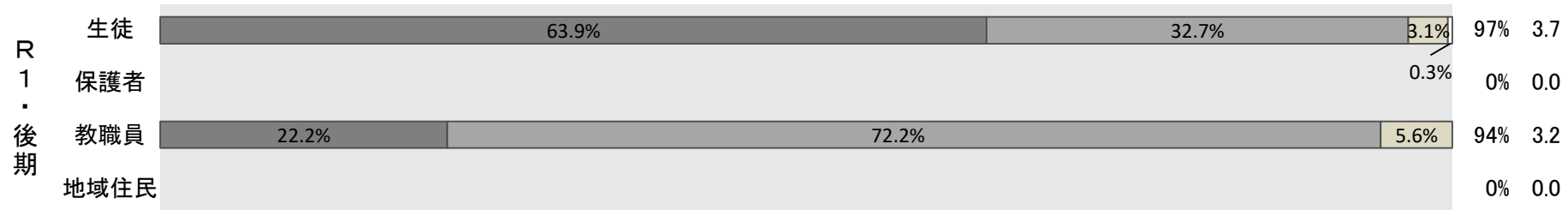
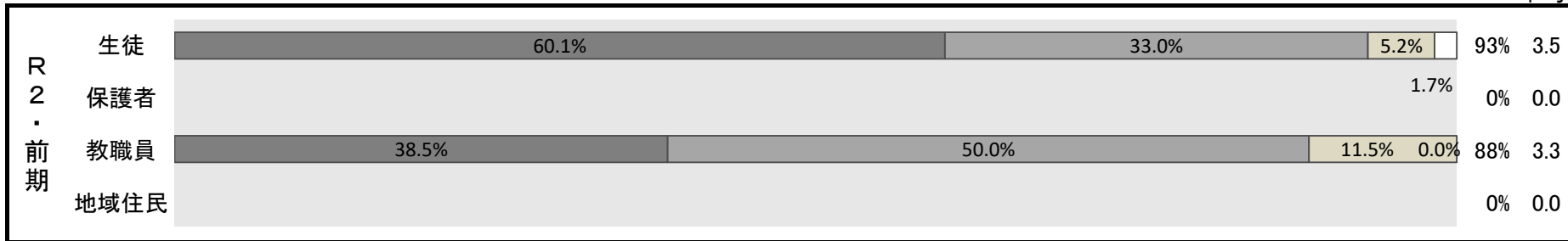
5

授業では、グループで話し合いながら問題を解決したり理解を深めたりする学習活動に積極的に取り組んでいると思う。

(生徒) 授業では、グループで話し合いながら問題を解決したり理解を深めたりする学習活動に積極的に取り組んでいると思う。
 (保護者) 0
 (教職員) 生徒は、グループで話し合いながら問題を解決したり、理解を深めたりする学習活動に積極的に取り組んでいると思う。
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う □ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

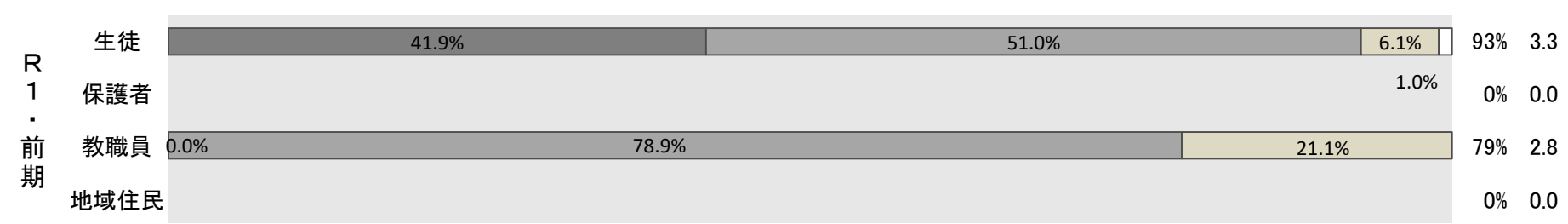
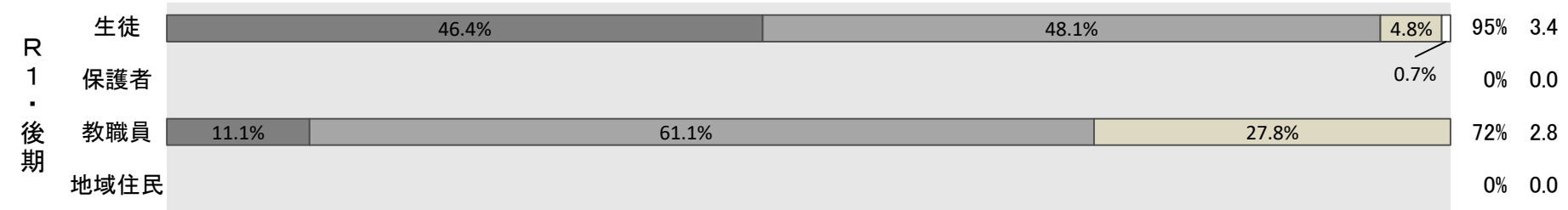
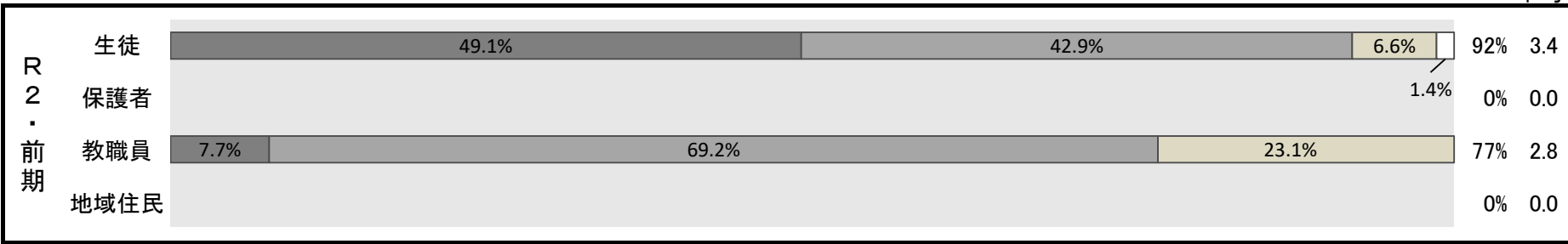
肯定的回答をした生徒の割合は9割を超えているものの、昨年度の同時期である前期の結果と比較すると、2ポイント減少している。新型コロナウイルス感染症対策の一環として、授業におけるグループ学習(話し合い学習)を制限してきたことが影響していると考えられる。今後は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、校内研修の柱として、取り組んでいくこととしている。

6 授業では、相手の言うことをしっかり聞くとともに、自分の考えを伝えることができると思う。

(生徒) 授業では、相手の言うことをしっかり聞くとともに、自分の考えを伝えることができると思う。
 (保護者) 0
 (教職員) 生徒は、授業で相手の言うことをしっかり聞くとともに、自分の考えを伝えることができると思う。
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察 同時期である昨年度前期と比較すると、「そう思う」と回答した生徒の割合は増加している。一方、「だいたいそう思う」を含む肯定的回答をした生徒の割合は9割を超えているものの、1ポイント(3名程度)減少した。新型コロナウイルス感染症対策の一環として、授業におけるグループ学習(話し合い学習)を制限してきたこともポイント減少の一因と考える。今後は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、校内研修の柱として、取り組んでいくこととしている。

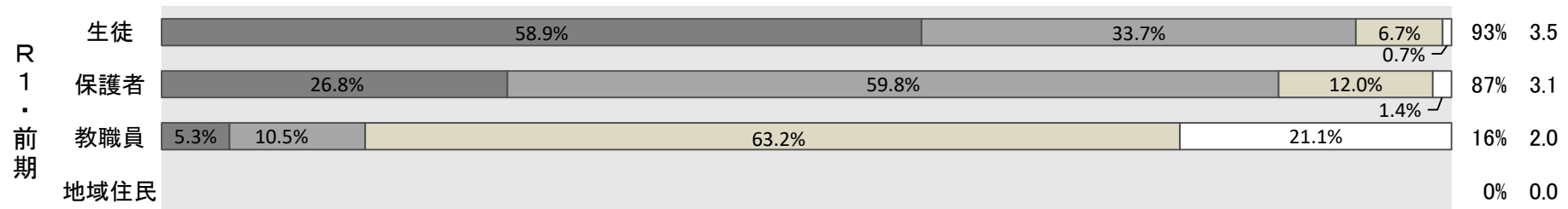
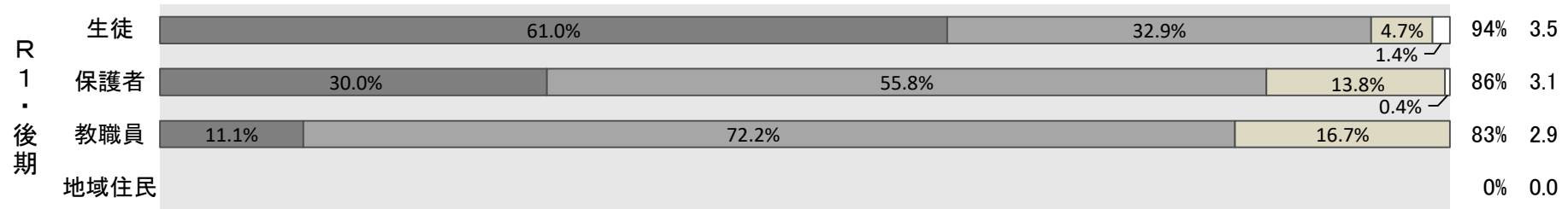
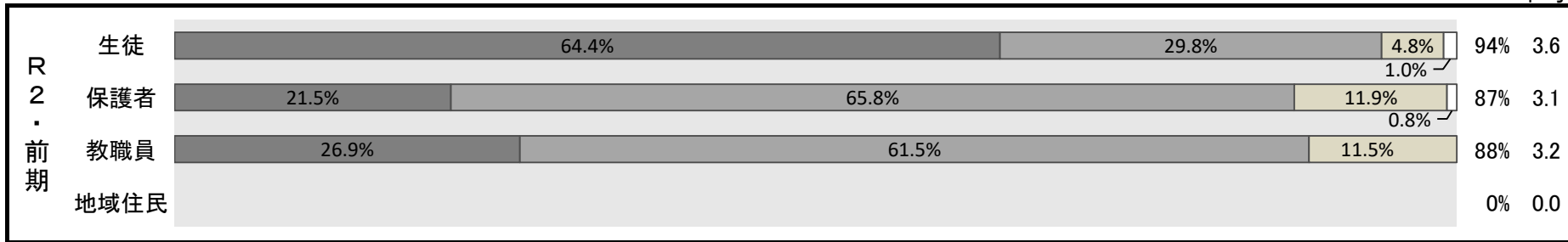
7

先生たちは、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれると思う。

(生徒) 先生たちは、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれると思う。
 (保護者) 教職員は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、丁寧に教えてくれると思う。
 (教職員) 本校の教職員は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えている。
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

昨年度の同時期である前期の結果と比較すると、「そう思う」と回答した生徒の割合は大幅に増加している。また、「だいたいそう思う」を含む肯定的回答をした生徒の割合についても、増加している。